



〒985-0045

宮城県塩竈市西玉川町1-16

<http://www.k-aiseikai.com>

✿ 地域とともに～音楽療法で広がる笑顔とつながり～

このたび、利府町北部地域包括支援センター様とのご縁をいただき、5月15日と8月19日に開催された出前講座「認知症カフェ 忘れな草」にて、認知症講座および参加型音楽療法を担当させていただきました。

音楽療法は、音楽の持つ心理的・社会的効果を活用したリハビリテーション活動であり、歌唱を通じて脳の活性化や嚥下機能の向上が期待されます。当日は参加していただいた方々と座談会や思い出話で盛り上がりしました。

地域のつながりを感じる貴重な機会となりました。今後もこのような文化交流の場を通じて、認知症への理解と地域の絆を育んでまいりたいと考えております。



✿ 季節の恵みと心を届ける当院の給食

当院の給食では、季節感や家庭料理の温かみを大切にしたお食事の提供を心がけています。七夕にはさっぱりとしたそうめんとサクサクの天ぷら、初秋にはひとつひとつ愛情込めた手詰めのいなり寿司の提供を行っています。お彼岸の主役のおはぎも、あずきやもち米から炊き、昔を思いだしてどこかほっとする手作りにこだわった一品です。

また、塩釜神社の祭日にお赤飯メニューを実施するなど、地域行事との連動もあわせて行っています。

そのほか、だしをきかせたカレーうどんやふわふわでほんのり甘いフレンチトースト、具だくさんのピザトーストなども、患者様からリクエストの多い定番メニューです。

これからも60年以上親しまれてきた料理を受け継ぎ、地元の食材(水産品やみそ・しょうゆ、乾物など)を活用しながら、新しいメニューの開発や献立改善に邁進してまいります。



✿ 早期の社会復帰を目指して～急性期精神科病棟の紹介～

当院の4病棟は、平成30年に一般病棟から急性期病棟へと機能を転換し、新たに運用を開始しました。男女混合の閉鎖病棟であり、4つの隔離室、1～2床利用可能な個室が3室、そして40床の多床室を備え、計47床で運営しています。

入院される患者様は、うつ病や統合失調症などの精神疾患をお持ちの方をはじめ、社会生活に困難を感じている方など、さまざまな背景をお持ちです。また、近年は高齢化の影響により、認知症に起因する家庭内・施設内でのトラブルを抱える高齢者の受け入れも増えています。

私たちは、薬物療法を中心に、多職種によるカンファレンスを通じて、患者様一人ひとりに合った退院支援を行っています。

患者様とご家族に寄り添いながら、安心して治療に専念できる環境づくりを心がけています。

4病棟では、原則として3ヶ月以内の退院を目指し、早期の社会復帰を支援しています。閉鎖病棟でありながらも、明るく開放的な室内環境を整えており、患者様が穏やかに過ごせる空間となっています。

「閉鎖病棟＝暗い」というイメージを払拭し、どなたでも安心してご利用いただける病棟を目指しています。ご不明な点があれば、どうぞお気軽にお問い合わせください。



師長歴の長い頼れる師長であり、毎日スタッフに交じって朝から現場を動き回る姿勢は、まさに“背中で語る”リーダーです。厳しさの中にも常にスタッフへの思いやりを忘れず、4病棟の業務に心を尽くしてくださっています。急性期という、当院の主力となる病棟を力強く牽引されており、その行動力と責任感は、スタッフ一同から厚い信頼を寄せられています。

✿ いざという時に備えて～避難訓練レポート～

先日、毎年恒例の避難訓練を実施いたしました。

当施設では、年2回「日勤帯」と「夜間帯」を想定した訓練を行っており、今回は「日勤帯」を想定しての実施となりました。

訓練当日は、初期消火・通報・避難誘導の各項目を本番さながらの緊張感のもと、職員および患者様の協力のもと滞りなく行うことができました。

総合訓練終了後には、職員向けに消火器の操作訓練も実施し、より実践的な対応力の向上を図りました。

今後も火災への備えを徹底し、常に「本番」を意識した訓練を継続してまいります。



編集後記： 厳暑の候、皆様におきましては、いかがお過ごしでしょうか？

暑さが厳しい日々が続いています。どうぞ体調にお気をつけください。

広報委員会 事務：佐々木 医療支援部：菊地 看護部：千葉